

つるが港エリア お散歩マップ

氣比神宮歩き



1 本勝寺
幕末期に水戸天狗党の党首武田耕雲斎を含む380名あまりが一時幽閉されました。境内には「水戸烈士幽居乃寺」の石碑が建立されています。



2 ヨーロッパ軒
昭和14年創業、福井市のヨーロッパ軒総本店ののれん分け第1号店。名物の特製ソースにつけてご飯にのせた「ソースカツ丼」は敦賀市民に欠かせない味。



3 妙顕寺
氣比神宮の神宮寺として創建され、元亀元年には織田信長が朝倉氏攻めの折、本陣として秀吉・家康と共に投宿したと伝えられています。



松尾芭蕉の像
元禄2年旧暦8月14日の夜に松尾芭蕉が氣比神宮に参拝し、月明かりに照らされた神前の白砂とその云われに感動し「月清し遊行の持てる砂の上」と詠みました。境内には松尾芭蕉の像と句碑があります。



4 氣比神宮
市民に親しまれる北陸道の總鎮守。高さ11mの赤い大鳥居は日本三大木造大鳥居のひとつ。緑豊かな境内には、ここを訪れた松尾芭蕉の像と句碑や無病息災に効く長命水が湧き出しています。



氣比の長命水
西暦702（大宝2）年のこと。氣比神宮の造営中に突然、一つの水場が湧き出した一神宮の大岩から流れ落ちる『長命水』は、そのようにして始まったと伝えられています。

赤い大きな鳥居がある氣比神宮は敦賀市民の憩いの場所。近くには神社仏閣も多く、門前町の神楽商店街には老舗の和菓子店や敦賀ならではの昆布店が並びます。



12 13 敦賀名産 手すきおぼろ昆布
敦賀の昆布を代表するおぼろ昆布。向こう側が透けるほど薄い手すきの昆布は、昔から熟練の技を持った職人たちによって丁寧に削られていきます。



敦賀銘菓
氣比神宮の門前町である神楽商店街には昔ながらの伝統を受け継ぐ和菓子店が数多く残っています。名産品の昆布を練り込んだ求肥昆布や夏のお菓子水仙まんじゅうなど敦賀ならではの味が楽しめます。



5 お砂持ち神事の像
正安3年（1301年）に、時宗2代目遊行上人 他阿真教が敦賀に滞在中、氣比神宮西門の参道周辺が沼地となって参拝者が難儀しているのを知り、浜から砂を運んで道を造ろうと改修にあたられた故事に因んでいます。

